



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 保土谷化学工業株式会社
 コード番号 4112 URL <https://www.hodogaya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松本 祐人
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 毛利 康宏 TEL 03-5299-8019
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	29,626	8.1	4,261	142.6	4,435	126.0	2,096	91.3
2020年3月期第3四半期	27,418	2.2	1,756	△17.6	1,962	△17.8	1,095	△35.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 4,789百万円 (424.5%) 2020年3月期第3四半期 913百万円 (△11.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	264.97	—
2020年3月期第3四半期	138.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	60,846	41,385	60.6
2020年3月期	54,903	37,040	61.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 36,853百万円 2020年3月期 33,941百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—		
2021年3月期（予想）				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	3.3	4,300	48.1	4,500	47.1	2,200	18.4	278.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	8,413,726株	2020年3月期	8,413,726株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	496,900株	2020年3月期	510,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	7,912,103株	2020年3月期3Q	7,903,159株

※ 四半期決算短信は従来より監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、世界的には、中国は既に新型コロナウイルス感染拡大以前の経済水準まで戻しているものの、欧米では感染再拡大により、経済を含め、すべての活動が制限を受けている状態が継続しています。

加えて、米中対立の継続や米国新政権政策の影響等、不透明感が強く残る状況となっています。

わが国の状況は、徐々に経済活動が再開し、持ち直しの動きが見られましたが、年末にかけて全国的に感染が再拡大し、先行き不透明な状態が継続しています。

このような情勢下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比2,207百万円増(8.1%増)の29,626百万円になりました。損益面では、売上高の増加等により、営業利益は、前年同期比2,504百万円増(142.6%増)の4,261百万円となりました。また、経常利益は、前年同期比2,472百万円増(126.0%増)の4,435百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比1,000百万円増(91.3%増)の2,096百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次のとおりであります。

〔機能性色素セグメント〕

イメージング材料事業は、プリンター向け材料の需要低迷に加え、コロナ禍の影響により、在宅勤務への移行が加速、印刷需要が減少し、大幅な減収となりました。色素材料事業は、アルミ着色用染料でスマートフォン向けの販売が増加してきたものの、コロナ禍の影響により、繊維向け染料の需要が減少し、減収となりました。一方で、有機EL材料事業は、スマートフォン向けディスプレイ分野において、液晶から有機ELへの切り替えが進んでおり、需要が増加しました。また、当社の子会社において、有機EL材料の用途展開として、PCR診断キット用材料が、複数の診断キットメーカーの採用で、第1四半期では大幅な増収となりました。第2四半期では競争激化により、販売量が減少しておりましたが、足元では世界的な感染の再拡大により、販売量が若干回復傾向にあります。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比3,819百万円増(43.8%増)の12,533百万円となりました。

〔機能性樹脂セグメント〕

ウレタン原料およびタイヤ用接着剤が、米中貿易摩擦やコロナ禍の影響により、大幅な減収となりました。足元ではタイヤ用接着剤の回復傾向は継続しております。また、建築材料事業は、コロナ禍の影響を受け、工事の延期や中止等が発生、材料販売や防水・止水工事の需要が減少し、大幅な減収となりました。さらに、特殊化学品事業は、医薬向け中間体の競争激化等により、大幅な減収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比1,226百万円減(13.9%減)の7,574百万円となりました。

〔基礎化学品セグメント〕

過酸化水素誘導品は、衣料用漂白剤や家庭用洗剤向けの需要が増加し、増収となりました。一方で、過酸化水素は、工業薬品向けが半導体市場を中心に好調を継続しておりますが、コロナ禍の影響を受けた紙パルプ向けの需要が減少し、減収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比229百万円減(4.3%減)の5,148百万円となりました。

〔アグロサイエンスセグメント〕

家庭園芸向け除草剤は、コロナ禍の影響による巣籠り需要により増加し、大幅な増収となりました。また、ゴルフ場向け除草剤は需要が堅調に推移し増収となりましたが、一方で農耕地向け及び殺虫剤は、顧客の在庫調整により販売量が減少し、大幅な減収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比19百万円減(0.7%減)の2,933百万円となりました。

〔物流関連セグメント〕

コロナ禍による物流の停滞や米中貿易摩擦の影響を受け、輸出の取り扱い量が減少し、減収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比125百万円減(8.7%減)の1,319百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末(12月末)における資産合計は、60,846百万円となり、前連結会計年度末(3月末)比5,942百万円の増加となりました。

主な増減要因は、現金及び預金の増加2,896百万円、投資有価証券の増加1,240百万円、商品及び製品の増加885百万円、有形・無形固定資産の増加617百万円、仕掛品の増加602百万円、受取手形及び売掛金の減少842百万円等であります。

負債合計は、19,461百万円となり、前連結会計年度末比1,597百万円の増加となりました。

主な増減要因は、短期・長期借入金の増加745百万円、未払法人税等の増加408百万円、支払手形及び買掛金の増加327百万円等であります。

純資産合計は、41,385百万円となり、前連結会計年度末比4,344百万円の増加となりました。

主な増減要因は、利益剰余金の増加1,700百万円、非支配株主持分の増加1,432百万円、その他有価証券評価差額金の増加873百万円、為替換算調整勘定の増加282百万円等であります。

以上の結果、自己資本比率は60.6%となり、前連結会計年度末の61.8%から1.2ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想(通期)につきましては、2020年10月29日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,877	9,774
受取手形及び売掛金	11,250	10,407
商品及び製品	4,251	5,136
仕掛品	624	1,227
原材料及び貯蔵品	2,169	2,259
その他	410	772
貸倒引当金	△21	△20
流動資産合計	25,563	29,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,326	6,350
土地	11,967	12,079
その他（純額）	4,814	4,219
有形固定資産合計	22,108	22,649
無形固定資産		
のれん	—	54
ソフトウェア	127	157
その他	30	21
無形固定資産合計	157	234
投資その他の資産		
投資有価証券	5,966	7,207
長期貸付金	261	415
繰延税金資産	344	175
その他	694	798
貸倒引当金	△192	△192
投資その他の資産合計	7,074	8,405
固定資産合計	29,340	31,288
資産合計	54,903	60,846

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,179	4,507
短期借入金	3,203	4,659
未払法人税等	360	769
引当金	504	236
その他	1,959	2,008
流動負債合計	10,207	12,180
固定負債		
長期借入金	3,950	3,240
繰延税金負債	1,108	1,459
再評価に係る繰延税金負債	1,228	1,228
引当金	1	1
退職給付に係る負債	69	74
資産除去債務	81	81
その他	1,215	1,195
固定負債合計	7,655	7,280
負債合計	17,863	19,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,196	11,196
資本剰余金	8,706	8,716
利益剰余金	11,396	13,097
自己株式	△1,712	△1,667
株主資本合計	29,586	31,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,146	2,020
土地再評価差額金	2,783	2,783
為替換算調整勘定	424	706
その他の包括利益累計額合計	4,354	5,510
非支配株主持分	3,099	4,531
純資産合計	37,040	41,385
負債純資産合計	54,903	60,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	27,418	29,626
売上原価	18,208	17,694
売上総利益	9,210	11,931
販売費及び一般管理費	7,453	7,670
営業利益	1,756	4,261
営業外収益		
受取利息	12	8
受取配当金	189	190
固定資産賃貸料	46	54
雑収入	201	148
営業外収益合計	450	403
営業外費用		
支払利息	47	38
為替差損	107	114
環境関連整備費	51	49
雑損失	37	27
営業外費用合計	244	228
経常利益	1,962	4,435
特別利益		
固定資産売却益	10	17
特別利益合計	10	17
特別損失		
固定資産除却損	11	13
投資有価証券評価損	62	41
退職給付制度終了損	94	—
その他	—	1
特別損失合計	168	56
税金等調整前四半期純利益	1,804	4,395
法人税等	425	991
四半期純利益	1,379	3,404
非支配株主に帰属する四半期純利益	283	1,308
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,095	2,096

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,379	3,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	873
為替換算調整勘定	△181	510
退職給付に係る調整額	△247	—
その他の包括利益合計	△466	1,384
四半期包括利益	913	4,789
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	703	3,252
非支配株主に係る四半期包括利益	209	1,536

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,804	4,395
減価償却費	1,092	1,102
のれん償却額	—	0
引当金の増減額 (△は減少)	△229	△268
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	25	4
受取利息及び受取配当金	△202	△199
支払利息	47	38
為替差損益 (△は益)	36	10
有形固定資産売却損益 (△は益)	△10	△16
有形固定資産除却損	11	13
投資有価証券評価損益 (△は益)	62	41
退職給付制度終了損	94	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,778	900
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,115	△1,436
仕入債務の増減額 (△は減少)	△403	321
その他の資産・負債の増減額	211	263
未払消費税等の増減額 (△は減少)	61	△75
その他	△35	△29
小計	3,229	5,066
利息及び配当金の受取額	200	198
利息の支払額	△47	△38
法人税等の支払額	△560	△556
法人税等の還付額	46	52
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,867	4,723
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19	△64
定期預金の払戻による収入	19	19
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,590	△1,989
有形及び無形固定資産の売却による収入	14	41
有形固定資産の除却による支出	△5	△2
投資有価証券の取得による支出	△1	△40
貸付けによる支出	△23	△176
貸付金の回収による収入	24	22
事業譲受による支出	—	△0
差入保証金の差入による支出	△83	△109
差入保証金の回収による収入	87	22
その他	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,575	△2,275

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	1,352
長期借入れによる収入	—	80
長期借入金の返済による支出	△1,041	△754
配当金の支払額	△199	△196
非支配株主への配当金の支払額	△91	△104
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△1	△3
リース債務の返済による支出	△58	△91
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	△20	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,413	281
現金及び現金同等物に係る換算差額	△80	109
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△201	2,838
現金及び現金同等物の期首残高	7,442	6,769
連結子会社の事業譲受に伴う 現金及び現金同等物の増加額	—	6
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,240	9,614

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性が欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性 色素	機能性 樹脂	基礎 化学品	アグロ サイエンス	物流関連	計				
売上高										
(1)外部顧客に 対する売上高	8,714	8,801	5,377	2,953	1,445	27,292	125	27,418	—	27,418
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	123	131	126	—	1,142	1,524	86	1,611	△1,611	—
計	8,837	8,933	5,504	2,953	2,588	28,817	212	29,029	△1,611	27,418
セグメント利益 又は損失(△)	750	415	394	△92	303	1,772	△17	1,755	1	1,756

(注1) 各セグメントの主な製品

(1)機能性色素・・・・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、各種染料等

(2)機能性樹脂・・・・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、
ウレタン系各種建築・土木用材料、防水・止水工事
医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体

(3)基礎化学品・・・・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料

(4)アグロサイエンス・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤

(5)物流関連・・・・・・倉庫業、貨物運送取扱業

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、研究受託業務等であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性 色素	機能性 樹脂	基礎 化学品	アグロ サイエンス	物流関連	計				
売上高										
(1)外部顧客に 対する売上高	12,533	7,574	5,148	2,933	1,319	29,510	116	29,626	—	29,626
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	123	86	70	—	1,079	1,359	120	1,480	△1,480	—
計	12,657	7,660	5,218	2,933	2,399	30,869	237	31,106	△1,480	29,626
セグメント利益 又は損失(△)	3,589	96	478	△151	233	4,246	13	4,260	1	4,261

(注1) 各セグメントの主な製品

(1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、PCR診断キット用材料、各種染料等

(2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、ウレタン系各種建築・土木用材料、防水・止水工事 医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体

(3)基礎化学品・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料

(4)アグロサイエンス・・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤

(5)物流関連・・・倉庫業、貨物運送取扱業

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、研究受託業務等であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「機能性色素」セグメントにおいて、連結子会社が取引先から事業を譲受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、55百万円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。